

新約聖書の中の祈り⑳

熊本聖書フォーラム
2021年3月28日

出典：MBS147 "Prayer in New Testament History" Arnold G. Fruchtenbaum, TH.M., PH.D.

「新約聖書の中の祈り」のアウトライン

1. イエスの祈り（22の事例）
2. 福音書における他の祈り（4の事例）
3. 使徒の働きにおける祈り（27の事例）
4. 書簡における祈り（23 + 2 = 25の事例）

本日は、書簡における祈り（第21～第25）

21-1 テモテについて P.1

- 使徒16：1 母はユダヤ人、父はギリシヤ人
- II テモ3：14 幼い頃から聖書に親しんだ
- II テモ1：5 祖母と母が信者になり、テモテも
- パウロ 第一次伝道旅行 リステラにて宣教
- I テモ1：2 「信仰による、真のわが子テモテ」

21-2 パウロの同労者となる P.2

- 第二次伝道旅行で、パウロは、再びリステラへ
- 使16：1～3 テモテを一行に加える
- 使17：14 テモテに宣教地のフォローアップを託する
- 第三次伝道旅行にも同行させる
- 使19：22 パウロはエペソ。マケドニアへテモテ派遣
- 使徒20：4 エルサレムへも同行させる

21-3 パウロの収監とその後 P.2

- パウロは、エルサレムで捕らえられる
カイサリアに移送されて、収監2年間
ローマに移送されて収監、また2年間
- テモテはパウロを世話したり、諸教会に出向く
- I テモ1：3
釈放後、パウロはマケドニア、テモテはエペソ

21-4 テモテの立場 P.2

- ① II テモ4：5 使徒ではなく、**伝道者**
- ② 少なくとも2回、**接手**を受けた
パウロから II テモ1：6
長老たちから I テモ4：14

21-5 テモテへの手紙第一 P.2

- ① 紀元63～66年
 - 釈放後、パウロはマケドニアへ テモテはエベソへ
 - エベソにいるテモテに宛てた書簡
- ② テモテの年齢 I テモ4：12 「年が若い」といっても、40歳近い
- ③ テモテの体力 I テモ5：23 「たびたび起こる病気」

21-6 テモテへの手紙第二 P.3

- ① 紀元67年頃
 - パウロはローマに戻ったところを再び捕らえられる
 - ローマでの2回目の獄中生活
- ② II テモ4：6 「世を去る時が来ました」
死期が近いのを感じながら、テモテに書いた手紙
パウロの最後の書簡

21-7 II テモテ1：3に見る祈り P.3

- ① あなたのことを思い起こし
- ② 神に感謝しています
- ③ 祈り（願い求め）の中で
- ④ 絶えず
- ⑤ 夜昼

21-8 祈りの内容 P.3

- ① 感謝と願い求め
- ② 信仰の父であるパウロが、信仰の子テモテのために、いろいろなことを願い求めた
- ③ パウロは、地域教会のためだけでなく、信者一人ひとりのためにも、夜昼、祈った

22番 ビレモンのための祈り P.4

- ビレモン4
- ビレモンのための祈り
 - 感謝をささげる祈り
 - 「いつも」
 - パウロは何か特別なことを祈ったわけではないかも
→誰かのために祈るとき、その人の具体的状況を必ずしも知らなくてもよい

23番 祈ってくれるように求める P.4

- ビレモン22
- パウロは、ビレモンたちに祈るよう依頼
 - 「あなたがた」 1節 ビレモンの家にある教会
 - 祈りの内容・・・パウロが獄中から解放されるように
 - 祈りの重要性
パウロはいつも地域教会や信者たちのために祈った彼らに自分のためにも祈ってくれるように求めた祈りによって神のみわざが進むからである

24番 ゲツセマネでの祈り

P.5

ヘブル5：7、福音書の記事マルコ14：32～42

祈りの内容・・・「祈りと願いをささげ」→願い求め

- ① 自分を**死**から救い出すことができる方に
肉体の死（体と靈魂の分離）ではなく、
靈的な死（神からの分離）
- ② マルコ14：36 二つの願い求め
 - ・どうか、この杯をわたしから取り去ってください
 - ・しかし、あなたがお望みになることが行われますように

24番 ゲツセマネでの祈り

P.5

- ③ イエスの祈りの姿勢 ひざまずいて→地面に
両手をついてひれ伏し→地面に何度も倒れこん
で・・・この苦悶の祈りを3回繰り返した
- ④ イエスは祈りによって恐れを乗り越えた
十字架上で、靈的な死と靈的な復活
▶ヘブル5：7 大きな叫び声と涙をもって

25番 正しく行動するために

P.6

ヘブル13：18

- ・著者は不明。執筆目的は、信者たちの靈的未熟さと誤りを指摘、彼らが直面している危険について警告
- ・著者は、「私たちのために祈ってください」
祈ることで、良心は正しく機能するようにされる
良心が正しく働くと、正しく行動することができる
正しく行動することで、危険を回避できる

25番 正しく行動するために

P.6

正しい良心=神のことばを基準とした判断
正しい行動=神のことばに沿って歩む
その基盤は
神への信頼、神の愛に応答したいという願い
祈りは、正しい道に乗るために有効な手段
問題から脱却するための方法は、祈り

25番 正しく行動するために

P.6

ヘブル13：19 祈りの内容

私があなたがたのところに早く戻れるように

↓

拘束されている状態から早く解放されるように
著者はそのとき、収監されていた